

地域づくり提案事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 平成22年度

市町村名	川口市		
提案事業名	道路速度規制安全対策事業		
事業期間	22年度	～	22年度
事業の必要性、目的	平成18年9月に発生した痛ましい戸塚地区の園児死傷事故など、本市では交通事故の約6割が主として地域住民の日常生活に利用される生活道路で発生している。そこで、生活道路における交通事故防止対策として、市内各町会からの要望路線及び芝・西川口地区の一部区域内の全ての道路を県公安委員会による最高速度30km/h規制実施に併せて、市として必要な対策を講ずる。また、速度規制の実施を住民等に広報し、安全運転に対する意識高揚を促し、交通事故件数を減少させることを目的とする。		
成果指標	(成果を検証する指標) 人身事故件数の減少		
	(成果検証の具体的な方法) 速度規制が実施される路線及び区域内での人身事故件数を、事業実施後の数値と比較して増減数及びその原因を分析する。		
	(上記の指標を設定した理由) 本事業の目的は、交通規制に併せて道路安全対策を講じ、交通安全の啓発活動を実施することで、人身事故件数を減少させることが目的であるため。		
	(成果の目標値)		
	現状値 21年中の件数	警察調査中	目標値 (23年12月時 点) 前年件数比率の5.6%減
	(施設建設等の場合)		
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)
住民への公表方法及び特記事項	交通安全啓発事業として町会等に規制実施と併せ広報し、交通安全教室等実施の際に事業内容の報告を行い、幅広く住民等に公表するものである。		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成 年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 交通安全啓発事業	ハードソフト実行委間接補 町会の要望に基づく速度規制の実施に伴い、規制内容を周知するための広報文等を作成し配布する。また、町会等に対して交通安全啓発活動の実施を依頼し、市と町会等が協働し、速度超過への注意喚起を行うことで、住民等の安全運転に対する意識高揚が図られ、交通事故件数の減少に繋がるものである	75
② 道路白線塗布等整備事業	ハードソフト実行委間接補 速度規制の実施に伴い、安全対策として歩行者・自転車の通行空間確保のために路側帯の設置及び強調などの道路白線塗布等を実施し、交通安全を確保することで交通事故件数の減少に繋がるものである。	30,425
③	ハードソフト実行委間接補	
④	ハードソフト実行委間接補	
合計		30,500

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	速度規制を実施するに当たっては、町会からの要望内容に加えて、市と警察が協働し、道路診断を行い、効果的な規制が行われるよう検討を重ねた。また、速度規制に併せて道路整備等を実施し、町会等に改めて交通安全啓発活動を行うことで交通事故の減少に反映するよう努めるものである。
成果指標の達成見込み	交通事故の約6割が速度規制を定めていない生活道路で発生している。この生活道路が最高速度30km/hとなり、速度超過を起因とした交通事故件数の減少が見込める。また、規制実施に併せて必要な安全対策としての道路整備等を行い、交通安全啓発活動を実施することで成果指標の達成が見込めるものである。